学校番号	1013

令和２年度　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	社会福祉基礎（実教）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・福祉に関心をもち、積極的に取り組むこと
・現代社会で起きている課題を演習や実技を通して考え、理解を深め、知識を身につけること
・実践的・体験的な学習を通して、確かな技術を身につけること
・生徒の主体的な授業への取り組みを重視していく
・新聞や VTR などを利用して、福祉に関する話題を多く取り上げることにより、「身近な問題としての福祉」を学ぶ授業づくりを行うこと
・将来の人生の中で役立つ知識や制度などを多く取り上げていくこと

２　学習の到達目標

到達目標	・社会福祉に関する基礎的な知識を習得し、社会福祉全体についての理解を深める。 ・現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解を深め、社会福祉の基本的な見方や考え方を身につける。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	福祉に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらをその充実向上をめざして、主体的に取り組むとともに実践的な態度を身に付けている。	福祉について生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	福祉に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察（授業態度、出席状況） ノート・プリントの記述 レポート、自己評価	学習状況の観察 （授業態度） ノート・プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 （授業態度） ノート・プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 （授業態度） ノート・プリントの記述 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	○アイスブレーキング 「名札つくり」、自己紹介	○				a:名刺づくりなどの作業に対して意欲的に参加している b:工夫や創造する能力を発揮することができている c:福祉に関する基礎的・基本的な技術を身に付ける d:アイスブレーキングの目的と知識を身に付ける	授業中の取り組み プリント ノート レポート 期末考査
		○地域福祉 バリアフリー 福祉のまちづくりと法律 住宅・住居サポート	○	○		○	a:地域福祉に関心・探究心を持ち、意欲的に取り組むとともに実践的な態度を身に付ける b:地域の中に潜んでいる課題を見出し、その解決を考え、適切に判断する能力を身に付ける。 c:地域福祉に関する基礎的・基本的な技術を身に付ける d:地域福祉に関する法律を理解し、知識を身に付ける	
	ユニバーサルデザインと人間関係とコミュニケーション	ユニバーサルデザイン	○			○	a:ユニバーサルデザインについて関心を持ち、普段の日常生活と照らし合わせ、積極的に発言や意見交換を行うことができる。 b:ユニバーサルデザインの定義を理解し、現代社会においての問題や課題に取り組むことができる。 c:教科書を通して、自分の意見をまとめることができる。 d:ユニバーサルデザインについての知識を身に付ける。	授業中の取り組み プリント ノート レポート 期末考査
		地域福祉活動とボランティア コミュニケーションの基礎		○		○	a:ボランティア活動に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:ボランティアの意義とコミュニケーションについて、主体的に考察し、その結果を表現することができる。 c:設定された主題について、考察に必要な情報を収集し、有用な情報を読み取りまとめることができる。 d:ボランティア、コミュニケーションについての定義・原則を関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	

2	車いす体験 レクリエーション体験	車いすの操作方法・名称 フィールドワーク体験 レクリエーションの基礎 レクリエーション体験	○	○	○	○	a:車いすやレクリエーションに関して、興味・関心を持ち、意欲的に取り組みことができる。 b:車いすやレクリエーションの特性や目的を理解し、実践活動では積極的に理解し、活動に対する工夫・創造力を身に付けることができる。 c:車いすの使用方法・レクリエーションの技術を身に付ける d:車いす・レクリエーションの知識を身に付ける。	授業中の取り組み プリント ノート レポート 期末考査
	生活を支える社会福祉・社会保障制度・障害者福祉	○障がい者福祉 ・視覚障がい（点字体験） ・聴覚障がい（手話体験） ・言語障がい ・知的障がい ・精神障がい ・発達障がい		○		○	a:障がいに関わる主題を意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:体験や視覚教材を通して、有用な情報を選択して、読み取ることができる。 d:障がいについての知識を身に付けている。	授業中の取り組み プリント ノート レポート 期末考査
3	社会福祉の担い手と福祉社会への展望	○高齢者福祉 認知症理解 高齢者の在宅サービス 介護職員について （キャリア研修） 卒業生の体験談	○	○			a:福祉の観点に基づいて意欲的に追求しようとしている。 b:高齢者福祉に関して理解し、適切に表現している。 c:高齢者福祉の課題に対し、必要な情報を収集し、まとめたりしている。 d:現代の課題に関する知識を身に付けている。	授業中の取り組み プリント ノート レポート 学年末考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。